

Madonna Association

2025 Special Issue

聖マリア女学院中学校・高等学校 マドンナ会 特別号

2025.6

心の故郷「マドンナ会」

マドンナ会 第33代会長(25期) 安藤 映子



木々の緑が色濃くなる時期となりましたが皆様はいかがお過ごしでしょうか。

この度マドンナだよりをお届けいたします。お忙しい毎日の中、母校を思い出し、旧友との絆を深めるきっかけとなり、少しでも安らぎと懐かしさ

を感じていただけたら幸いです。

マドンナ会の皆様におかれましては、それぞれの道で活躍のことと存じます。

マリアでの日々は私達の人生の土台となっております。共に笑い、共に悩み、支えあった温かい思い出は今も色あ

せることなく、私達の心の奥底に温かく灯っています。

日頃よりマドンナ会の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

皆様のご支援のおかげでマドンナ会は順調に活動を行うことができております。

今後ともマドンナ会は皆様にとって心の故郷となれるよう活動を続けてまいります。

バザーなどで皆様と再会できる事を楽しみにしております。皆様の健康と幸福を心よりお祈り申し上げます。



マドンナ会の皆さまへ

校長 信条 希望



皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。

新緑がまぶしく、季節の移ろいを日々感じるこの頃、聖マリアの丘には今年も彩り豊かな花々が咲き誇り、特に聖母月である5月にはバラが満開を迎え、校内は美しい色彩と香りに包まれています。この自然豊かな場所で、もっと多くの子どもたちが学びを深めてくれたらと願わずにはいられません。

さて、今年度は中・高(マリア中進級を含む)142名の新入生を迎え、新たな歩みを始めました。皆さまもご存じの通り、岐阜県・愛知県ともに、少子化の影響により子どもの数はこの10年間(2020年～2030年)で大幅に減少すると予測されています。全国的な傾向とはいえ、私たちの学校も例外ではなく、生徒募集には大きな努力が求められています。

それでも、入学してきた生徒たちは真面目で思いやりのある子どもたちばかりで、毎日その笑顔とエネルギーに支えられながら、私たち教職員も大きな喜びのうちに日々を過ごしています。

嬉しいご報告もございます。昨年度、アーチェリー部が

全国高等学校総合体育大会の団体戦で見事初優勝を果たしました。長年指導を続けてこられた驚見先生の熱意と祈りが、ついに実を結んだ瞬間でした。今年度はアーチェリー部に加えて、陸上部も全国大会(日本陸上競技選手権)への出場を決めており、学校全体に明るい希望の風が吹いています。

もちろん、勝敗や順位だけが大切なものではありません。一人ひとりが目標に向かって努力し、たとえ小さくとも達成感を味わうこと、仲間と共に励まし合いながら成長していくこと——そうした経験を、生徒たちにはたくさん積み重ねてほしいと願っています。

卒業生である皆さまにお願いです。ぜひ、皆さまの今の生活、家庭やお仕事、そして聖マリアでの学びが、どのように日々活かされているのか、後輩たちに伝えていただけませんか。どんなにささやかなことであっても、皆さまの歩みは在校生にとって大きな励ましとなります。

母校は、これからもマリアさまに見守られながら、静かに、けれど確かに歩み続けてまいります。どうかこれからも、皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



マドンナ会の皆さまへ

早野 正夫



マリアの第1期生は、岐阜商工会議所で行われた入学試験を受験した20名の合格者から、マリアは始まったと、高橋一郎保護者会名誉会長が折に触れて言われていたことを思い出します。マリアの校舎はまだ建設されていなかったからでした。福富

には、たった一本の杭があるだけでした。

あれから62年が経ちました。卒業生は5854人になりました。平屋のボックス型の校舎で、マリア号、ヨゼフ号の2台のスクールバスと岐阜市営バス2台が通学の手段でした。毎朝、講堂で全校の朝礼があり、その後グラウンドを2周走ってから教室で授業が始まりました。2時間続きの授業も多く、授業準備が大変だった思いがあります。理科室は北側にあり、入口のドアを閉めると、暗く閉じた空間になり、黙々と実験に勤しめる教室でした。時間を忘れて放課後実験していて、校長様からよく叱られたものです。12期生の入学と同じくして、私のマリアの教員生活が始まりました。あれから52年です。

私は、現在各務原教会の信者としてミサに与っています。岐阜教会も美濃加茂教会も同じですが、マリアの卒業生や、保護者の皆さまに支えられていると言っても過言ではないでしょう。各務原教会でも新教会を建設する折には、骨折っていただいた方たちの多くはマリアの関係者でした。

マリアの卒業生はどこか違うとよく言われます。どこが違うのでしょうか？

創作者カルメン・サジェスは「マリアで学んだことがわかるように振る舞いなさい」と言っています。それはマリアで聖書の「畏敬の念」「隣人愛」「赦し」を学んだからでしょう。

そして、マリア様にいつも守られている安心感が、卒業生の豊かな人生に導いていくのだと思います。現代は、複雑で多量の情報が飛び交う社会です。スマホで欲しい情報は瞬時に手に入れることができる素晴らしい時代です。

しかし、世界一貧しい「ホセ・ムヒカ」ウルグアイの元大統領は、真のしあわせはシンプルな暮らしにあると言っています。「多くのものを必要とする者が貧しいのだ。多くを求めれば人生の時間はいくらあっても足りなくなる。」「現代の課題である孤独は、愛し愛されることから離れてしまったことから起きています」と。

「大切なことは目に見えません」とよく言われます。マリアでの入学式、卒業式、練成会での活動、聖堂でのお祈り、修学旅行や課外活動、施設訪問、部活動、クリスマスの集い、スペイン語、外国語教育、留学、三者一体の教育、無原罪、スクールバス、厳しい校則、掃除などの中で培われてきたものは何でしょうか？

マリアには3つの句碑があります。校門の入口の「教育は愛なり」、玄関手前に「幸福とは…」、グラウンド北にあるM.アナマリアの「感謝」。

これに、マリアで学ぶ意義と成果は集約されていると私は思います。

社会の少子化の厳しい流れの中、マリアの益々の成長のためにぜひマドンナ会の力を貸していただきたいと思います。マドンナ会の繋がりを大切にすることが、これからのマリアの発展につながると信じています。

あなたの隣人は誰ですか。あなたは、強盗に襲われた旅人の祭司ですか、レビ人ですか、それともサマリア人ですか？



生徒の不安に寄り添い、生徒の可能性を信じ切る

進路指導部長 古田 修一朗



マドンナ会の皆様、初めましての方は初めまして、知っている方はご無沙汰しております、古田修一朗です。私は2009年に奉職し、現在進路指導部長を務めております。マドンナ会の笠井さんから「何か進路について書いて」と言われましたので、拙い文章ですが、お付き合いください。進路指導というと、

「大学にいかに合格させるか」「進学の実績をあげる」といったイメージを持たれるかもしれませんが。そういった側面もないわけではないです。が、「未来への一步を踏み出そうとする中高生に寄り添って、背中を押す」ということが聖マリアの進路指導のモットーとしてしているところです。

個人的な話で恐縮ですが、昨年私は高校3年生を担当しました。その中のある生徒さんの話です。その生徒さんは、昨年卒業した60期生の中で、最後に進路が決まりました。

まり、共通テスト、私立大入試、国公立大学の前期・中期・後期を受験しました。合格の喜びも不合格の悔しさも両方味わいました。そんな彼女が3月の終わりに受験の報告に来たとき、しみじみと「頑張ってたよかった」と言ってくれました。そして頂いた手紙には「先生が何回も面接練習に付き合ってくれたり、頑張れと言ってくれたのがうれしかったです」と書いてくれました。私は授業を持たないクラス担任で、学力の面で貢献したわけではありません。試験が終わったら「頑張ったから美味しいもの食べよう」、結果が芳しくなかった時には「今日はもう好きなことやって美味しいもの食べて、また明日から頑張ろう」、そんなことしか話しておりませ

ん。でも、それが彼女にとっては励みになったということでした。生徒さんへの寄り添い方は、生徒さん一人一人で異なりますし、教員の個性によっても異なります。ただ言えるのは、「生徒の不安に寄り添うこと」「生徒の可能性を信じ切ること」、これが基本姿勢だと思います。マリアさまの学校で教壇に立つ者として、これからもこの姿勢は守っていきたいと思います。



2025年のバザーは10月19日(日)です。10時～売切れ御免。

マドンナ会のブースは体育館です。手芸販売品は、手芸作品/30期 マドンナ会副会長 谷 朱さんの講師によるアンブレラマーカー・クリスマスブローチ・イヤリング等 皆で作っています。写真を添付しています。作品作りに参加してみたいと思われる方は是非Instagramを見てご参加ください。

楽しい交流の場へどうぞ

マドンナ会 総務(22期) 辻 由里

マドンナ会の役員に携わらせていただいていた十年が経ちました。

役員を引き受けた当初、今後の見通しを立ててみたところマドンナ会の会費は卒業時に終身会費として納めていただくのみで、その他は学院祭バザーでの収益しかありません。

今後少子化が進み生徒数が減ってしまうであろうと見込み『このままではいつか会費が尽きてしまう』と考え、バザーやマドンナ会を盛り上げるには卒業生の皆さんに集まってもらえる場所を作れば良いのではないかと、それにはマドンナ会の行事を増やし一人でも多くの方に参加してもらえればと色々企画し、今では少しずつではありますが参加者も増えて楽しい交流の場となっております。

行事予定などはInstagramで発信しております。お気軽に参加してみてください。

お待ちしております。



スクールバス 各務原・犬山・JR 4コース 藍川橋が新しくなります

マドンナ会だより

総務(8期) 笠井 智子

皆様お元気でお過ごしでしょうか。令和4年度より学校奨学金へ協力の為「マドンナ会だより」を聖マリア女学院高等学校ホームページのバナーより発信しております。発送経費を抑えて学校へ協力する形になって3年になります。卒業生の方々との連絡はマドンナ会のInstagramにて発信しておりますが、卒業生のみが安全で確実に交流が出来る名簿システムを学校の許可を得て再度入れる事になりました。このシステムは学校が卒業生の動向調査及び連絡にも使用しマドンナ会も卒業生との連絡に使用していきます。各期で同窓会等される時は学校へ連絡を下されば情報発信出来ます。それには皆様の協力が必要です。卒業・結婚して住所が変わった時、就職した時は自分で変更していくシステムです。聖マリア女学院高等学校への卒業後の状況は自己責任で入力して頂く必要があるのです。

同封の宛名用紙をご確認ください。用紙下部に記載の

「ID・パスワード」をご確認のうえ、QRコードまたはURLよりログインいただき、ご住所の変更やメールアドレスのご登録等をお願いいたします。今回のこの「マドンナ会だより」は卒業生へ周知徹底の為に発送する最初で最後の復活便です。

ご協力をお願いしたいと思います。

今、マドンナ会が学校に協力出来る事です。学校への奨学金はこのシステムが軌道に乗ればまた協力していきます。「マドンナ会だより」は学校ホームページのマドンナ会バナーよりご覧いただけます。会則に従い二年に一度の更新です。

マドンナ会の年行事が楽しいです。是非見に来てください。



マドンナ会 マイページの機能

<https://www.web-dousoukai.com/madonna/>



①宛名台紙の会員IDとパスワードを入力して、ログインしてください。

②マイページトップ画面

▶個人情報の表示・更新

▶同窓会に登録されている個人情報を自分で確認し、内容の変更をすることができます。また、同窓会開催等で、幹事からの請求に応じて、住所情報を開示する範囲を設定したり、会報の受け取りの可否も設定することができます。

※変更操作が上手くできない場合などは、異動通知フォームよりご連絡をお願いします。



岐阜城から見た長良橋